

〔目的〕洗剤は、環境保全、省資源、省エネルギーあるいは消費者の利便性のため組成面からも容器・包装の面からも大きな変化を遂げてきている。家庭洗濯は水を媒体としたその方法ゆえに環境問題や安全性と深く関わっており、また、消費者の関心度も極めて高く洗剤開発においてはこれら問題に十分対応することが一層求められる。本報では、最近の消費者の環境、安全性に対する意識や行動を家庭洗濯周りを中心に多角的に調査、解析し今後の洗剤のあるべき姿、および家庭洗濯における課題について考察した。

〔方法〕一般家庭354世帯において、90年と94年に留置式のアンケートを実施した調査・解析は、家庭洗濯周りにおける環境、安全性項目への理解度、関心度、実際の行動最近の洗濯製品に対する意識と活用度について多変量解析などにより行った。

〔結果〕①現在、消費者に関心の高い環境問題の上位は、水質問題、ゴミ問題、資源有効活用が挙げられた。②洗剤購入にあたっては、洗浄力などの基本性能に加えて、安全性が高いことや環境への影響が少ないことが重要視されており、その中でも、高い生分解性や少量使用の洗剤に対し期待が大きいほか、詰め替えを含む容器への配慮についても関心が高い。③柔軟剤や蛍光剤などに対して漠然とした不安感を抱いている人が見受けられたが正確な情報を伝えることによって拒否反応を示した80%以上の人に理解が得られた。

さらに、消費者の意識や行動と各自のライフスタイルや使用製品との関連性などを解析し、環境、安全性の問題における企業と消費者のより良いコミュニケーションのあり方について考察した。